

# 土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

調査名 有地川 通常砂防事業に伴う業務委託(堰堤補修)

事業名 または 工事名 有地川 通常砂防事業

調査目的及び調査対象 砂防 ダム・溜池

ボーリング名	Bor. E. 4	調査位置	広島県福山市蘆田町下有地			北緯	34° 30' 17.3070"			
発注機関	広島県東部建設事務所			調査期間	2022年 10月 8日 ~ 2022年 10月 10日		東経	133° 15' 43.1515"		
調査業者名	管理技術者			担当者	コア鑑定者		ボーリング責任者			
孔口標高	T. P. +177.50m	角	180° 上下 90° 0°		方位	北 0° 270°西 90°東 180°南 0°		地盤勾配	水平0° 鉛直 90° 32°	
総削孔長	7.00m	使用機種	試錐機		東邦試錐工業製D0-DL0型		エンジン	ヤンマー製TF-90M型		
			ポンプ		東邦試錐工業製DG-3C型					

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	現場土質名 (模様)	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色調	相対密度	相対稠度	地質時代名	記事	孔内水位/測定月日	標準貫入試験						試験採取番号	室内位置試験	削孔月日	
												深度-N値図		N値	100mmごとの打撃回数	打撃ごとの貫入量	50回の貫入量				自沈時の貫入量
1			シルト混じり礫質砂	シルト混じり礫質砂		褐黄褐色	rd2			表層0.2m付近まで、腐葉土、木根(枯木)等を混在した表土。無水細割可能で、凝結じり砂状にコア採取される。礫分は風化岩片主体で、手で割れる程度の硬さ。岩盤の土砂状風化部と判定。深度2.9m以深、やや硬くなる。		13	1.15	3	4	6	13	300			
2												8	2.15	2	3	3	8	300			
3	174.60	2.30										50	3.15	7	9	34	50	300			
4			砂質礫	砂質礫		黄褐色	rd4			礫分は無水細割により10~40mm程度の角礫状に割れて採取される。深度2.9m以浅より締まっている。		37	4.15	16	10	11	37	300			
5	173.00	4.50											5.00	貫入不能		50	0				
6			流紋岩	流紋岩		暗灰				岩片状から長さ5~10cmの短柱状にコア採取される。細割水は流出し濃流しない。深度4.85m以深は、暗灰色を基調とするが、5.1~5.8m間は褐色を帯び、亀裂沿いにやや脆くなっている。コアは岩片状に割れ易いが、組合わせると再柱状になる。			6.00	貫入不能		50	0				
7	170.50	7.00											7.00	貫入不能		50	0				